

- ② 期日・対象・参加者数  
 第1回・平成8年4月17日(水)～18日(木) 1泊2日  
 ・6月～7月に利用する学校の教職員49名参加  
 第2回・平成8年6月14日(水)～17日(木) 1泊2日  
 ・8月～12月に利用する学校の教職員17名参加  
 第3回・平成8年11月26日(火)～27日(水) 1泊2日  
 ・1月～3月に利用する学校の教職員36名参加

- ・キャンプ設営法・野外炊事
- ・自然観察
- ・コンパスワークと読図
- ・野外ゲームソング
- ・キャンプサイト撤収法
- ・キャンプファイヤーの実際

- ③ 研修内容
- 施設設備の実態と活動エリアの状況把握
  - 利用校の児童生徒の実態に応じた活動計画の作成と調整
  - 引率指導者と所員の役割分担とその内容の明確化
  - 野外活動や集団宿泊に関する実技研修

(2) 社会教育団体指導者研修会（リーダーセミナー）

- ① 目的  
 社会教育関係団体（少年団体等）が行う集団宿泊生活や野外活動等の充実を図るため、プログラミングや実技研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。

- ② 期日・対象・参加者数  
 ○ 平成8年5月25日(土)～26日(日) 1泊2日  
 ○ 当所の利用を予定している団体の指導者および社会教育団体等の指導者28名参加

- ③ 研修内容
- 施設設備の実態と活動エリアの状況把握
  - 野外活動に関する指導法と実技研修
  - 施設設備の利用の仕方と活動プログラムの作り方

(3) 社会教育団体事前打合せ会

- ① 目的  
 7月から8月に利用予定の団体が当施設で行う集団宿泊生活や諸活動の充実を図るため、活動プログラムの作成と調整を行うとともに各団体の指導者の交流を図る。

- ② 期日・対象・参加者数  
 ○ 平成8年7月7日(日)（日帰り）  
 ○ 7月から8月に当所を利用する予定の社会教育団体等の指導者及び担当者25名参加

- ③ 研修内容
- 施設利用の方法
  - プログラムの作成と調整

(4) 野外活動実技指導者研修会

- ① 目的  
 青少年教育に携わる指導者の野外活動技術及び指導力の向上を図り、指導者としての資質を高める。

- ② 期日・対象・参加者数  
 ○ 平成8年7月26日(金)～28日(日) 2泊3日  
 ○ 学校教育関係者、社会教育関係者並びに高校生、大学生等46名参加

- ③ 研修内容
- 理論 ・レク・野外活動指導者論
    - ・キャンプ概論
    - ・キャンプファイヤーの指導法
    - ・キャンプの安全と健康管理
    - ・キャンプ生活技術論
  - 実技 ・ロープワーク

2 自然に親しむ親子のつどい

(1) 親子キャンプのつどい

- ① 目的  
 親子によるキャンプ生活や野外活動を通して、自然に親しみながら、親子のふれあいを深め、他家族との交流を図り、親睦を深める。

- ② 期日・対象・参加者数  
 ○ 平成8年7月13日(土)～14日(日) 1泊2日  
 ○ 小・中学生とその親、または親子グループ  
 109名参加

- ③ 研修内容
- 親子で楽しくテント泊
  - 親子でつくる野外炊飯
  - 暗闇と静寂の中のナイトハイキング
  - 山野を歩いてのアドベンチャーゲーム

(2) 親子白銀のつどい

- ① 目的  
 親子でスキーやそり遊び、会津の昔話等を楽しむことにより、親子のふれあいを深め、他の家族との交流を図り、よりよい人間関係を育てる。

- ② 期日・対象・参加者数  
 ○ 平成9年1月25日(土)～26日(日) 1泊2日  
 ○ 小・中学生とその親、または親子グループ  
 117名参加

- ③ 研修内容
- スキー実技とそり遊び
  - 親子もちつき
  - 会津の昔話

3 自然に親しむ少年・少女のつどい

(1) 自然に親しむ少年のつどい

- ① 目的  
 自然の中での生活体験を通して心身を鍛え、自主性、創造性等を發揮させ、自分を律し、自然と調和して生活していこうとする心情を育てる。

- ② 期日・対象・参加者数  
 ○ 平成8年8月1日(木)～4日(日) 3泊4日  
 ○ 小学5年生以上中学生まで87名参加

- ③ 研修内容
- サバイバルウォーク（旧越後街道「塩の道」）
  - 野営（住みか作り・テント設営）
  - 魚つかみ、野外炊飯
  - キャンプファイヤー
  - 会津坂下町の昔話

(2) 少年スキー教室

- ① 目的